



## 視察研修

一日目、福井県おおい町議会において、「議会改革・通年議会について」をテーマに研修を行った。

おおい町には、今年1月20日に議会運営委員会での研修があり、今年2回目の研修でありました。

説明者 原田議長 堤副議長 細川議会運営委員会委員長  
尾谷議会運営副委員長 事務局員2名

おおい町議会の議会改革に向けての取り組み

### 1. 平成23年「おおい町議会基本条例」制定

議会活性化特別委員会設置、2年半に渡り議論を進め明文化

目的 議会への民意の反映と情報公開を充実し、議決機関としての責任を果たすこと

- ・ 議会の活動原則 開かれた議会運営、町民参加の推進と説明責任
- ・ 町民と議会の関係 情報公開を徹底し町民との協働、議会報告会開催
- ・ 議会運営 自由な討議により議論を尽くして合意形成
- ・ 委員会及び研修 調査研究や議員研修の強化

### 2. 令和元年7月 タブレット導入

- ・ 平成31年3月に導入を決定（決定までの準備作業）
- ・ ペーパーレスシステムの選定検討
- ・ コスト削減効果及び導入経費等の調査
- ・ 議員の費用負担（通信費、保険料）
- ・ タブレット端末機使用に関する要綱策定など

### 3. 令和2年8月 議会BCP策定

### 4. 令和3年6月 オンライン委員会の開催

5. 令和4年6月 通年議会導入
6. 令和4年12月 議員定数の削
7. 令和5年2月 議員報酬改定
8. 令和6年6月 議会基本条例改正 委員会代表質問の実施 など

所感 今回の研修でも、細川議運委員長（前議長）が、おおい町議会をリードされてみえる答弁などが、多く見られ、多種多様な議論の中で、議会運営がうまく機能していることが、伺われた研修でありました。

二日目 石川県 津幡町議会「能登半島地震における町と議会の対応について」をテーマに研修を受けた。冒頭に八十嶋議長から6月25日の東員町道路崩落事故に、お見舞いの連絡を頂いたことの御礼申し上げ、その後当議会からの事前質問（9点）を中心に研修が進められた。津幡町議会からの資料等はタブレットに収納。

#### 事前質問

Q・災害を受けられて、対応が間に合った点と、間に合わなかった点は。

A 間に合った点 議会において災害に備えるため、定期的に議会としての防災訓練を行い、議会災害対応マニュアルを確認する機会を設け、今回の災害でも、タブレット機能を活用した安否確認・連絡体制の確立、被災情報の共有、議会災害対策本部の設置などスムーズに対応ができた。

間に合わなかった点 今回の豪雨災害では、夜間に短時間で集中的に発生したため、議員の安否確認が翌日になるなど、初動の対応に遅れが生じました。災害はいつ起きるかわからないことを念頭に今回の災害課題として今後の対応を検討していきます。

その他、8項目に渡り丁寧にご回答いただいたことに感謝を申し上げますところでもあります。

津幡町としても、令和5年7月12日の豪雨災害による浸水被害、の教訓、令和6年1月1日の能登半島地震による各災害対応が訓練等に生かされたことも多くありました。

所感 私たちの事前質問で、津幡町議会の災害時の議会対応については、東員町でも、いつくるかわからない災害。私自身もあまり危機感もなく過ごしている現実を、いかに町民の皆様と共有できるかが大きな課題として、浮き彫りになっていると強く感じた研修。

東員町議会でも、東員町議会災害対策本部設置要綱。

平成25年3月1日議会告示第1号として施行されているが、今までは手つかずで、現在を迎えている。早急に時代に合った、見直しや改正が必要であると強く感じた研修でした。